

令和5年度 第3回 世田谷区長 定例記者会見

令和5年8月1日
世田谷区

ふるさと納税に関する現況調査結果（8/1 総務省発表）

全国の控除額合計

R4年度 5,716.8 億円  R5年度 **6,798.2 億円**

地方交付税による補填

自治体名	R4 減収額	R5 減収額
横浜市	230億円	272
名古屋市	143億円	159
大阪市	124億円	149
川崎市	103億円	121
世田谷区	84億円	98

自治体名	75%補填
横浜市	204億円
名古屋市	119億円
大阪市	112億円
川崎市	0
世田谷区	0

75% 補てんあり

自治体名	実質的な減収額
横浜市	68億円
名古屋市	40億円
大阪市	37億円
川崎市	121億円
世田谷区	98億円

1 番
2 番

世田谷区計算

ふるさと納税 — 告示・Q&Aの改正 —

制度の抜本的な見直しとは**かけ離れている**改正内容

《募集適正基準の改正》

返礼品等の
調達費用

返礼品等の
送付費用

広報費用

決済やポータルサ
イトへの掲載費用
等

+

受領証の発行等
寄附受領後に発生する
事務の費用

寄附額の **5** 割以内

ふるさと納税制度の**抜本的な見直し**を

特別区長会の主な主張

- 税控除額に上限を設ける、あるいは税額控除の率を引き下げること
- ふるさと納税ワンストップ特例制度によって、地方自治体が負担している、本来国が負担すべき所得税控除分を地方特例交付金等で補填すること
- ふるさと納税による減収額については、地方交付税の不交付団体に対し、地方特例交付金等で補填すること

米国・オレゴン州ポートランド市訪問



米国・オレゴン州ポートランド市訪問



世田谷区立郷土資料館の再開館

【再開館日】 令和5年8月1日（火曜日）

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【入館料】 無料

【休館日】 月曜日（祝日や休日にあたる場合は翌火曜日も）
祝日（文化の日を除く）、年末年始



【常設展示】

世田谷の原始時代から近現代までの時代ごとに資料・模型等を展示し、世田谷の歴史をたどる。

◎リニューアルした展示方法

- ・子ども向けの解説パネルの設置
- ・手に取って学べる体験コーナーの設置
- ・民俗展示コーナーの新設



きゆうせっきじだい
旧石器時代はどんな時代？

いどう移動
せいがつ生活

いし どうぐ
石の道具
せっき
(石器)

今より
さむ寒かった

いし やりさき
石で槍先を
作ってます

【特別展示①】

(重要文化財) 野毛大塚古墳展

実施概要

期 間 8月1日(火)～10月22日(日)

展示数 約220点(野毛大塚古墳出土品)



【特別展示②】

館蔵品でみる宗教美術の造形

実施概要

期 間 10月28日(土)～12月28日(木)

展示数 約50点(館蔵品等)



第44回せたがやふるさと区民まつり

- 日時 令和5年8月5日（土）
6日（日）
両日 午前11時～午後7時
- 会場 若林公園、松陰神社、
国士舘大学世田谷キャンパス
- 主催 せたがやふるさと区民まつり
実行委員会
- 共催 世田谷区



・ 内容

【ふるさと物産展】



【ステージイベント】



【子どもコーナー】



【囲碁・将棋コーナー】



【お囃子舞台】



その他

昔あそびコーナー
飾りみこし
各種出店 など

来年の第45回開催会場は、JRA馬事公苑に戻ります！

第39回(2016年)まではJRA馬事公苑で開催

第40回(2017年)から第42回(2019年)までは区役所周辺で開催

2020年は開催中止、2021年はオンライン開催

第43回(2022年)から今年の第44回(2023年)までは若林公園周辺で開催



コード化点字ブロックによる 音声案内の実証実験への協力について

- ・ 実施期間
令和5年8月21日(月)～ 25日(金)
- ・ 実証実験エリア
「うめとぴあ」～梅ヶ丘駅



世田谷区本庁舎等整備工事における工程遅延に係る経緯等報告書（2・3期工事）等の検証状況について

【概要】

令和5年7月14日、大成建設から、2・3期の14.5か月延伸の申し入れを含む「工程遅延に係る経緯等報告書（2・3期工事）」の提出があった。これを受けて、区は、学識経験者4名を中心とした工程検証委員会を設置し、大成建設が示す2・3期工事の見直し工程について、その検証過程や計画の合理性、実効性等の検証を実施する。

【実施状況】

- ・ 第1回：令和5年7月21日（金）
- ・ 第2回：令和5年7月24日（月）

【今後の予定】

- ・ 第3回：令和5年8月1日（火）
- ・ 第4回：令和5年8月8日（火）

【工程検証委員会での主な指示・意見】

（見直し工程に対する指摘事項）

- ・ 現場の安全確保と共に、最大限、工事を合理的に進めるよう、施工計画等のさらなる検討を求める。
- ・ 2期及び3期工事の施工条件等を踏まえた、より効率を上げる作業計画の検討を求める。

（その他ご意見）

- ・ 周辺住民、建物利用者、区民全体への影響を考慮した工程立案を検討せよ。
- ・ 長期にわたる工事であり、現場で働く方々のフォローが大事。健全な状態で働ける体制づくりが必要。

年齢階層別 要介護認定者数の推移（各年度末）

(単位：人)

		第6期			第7期			第8期		(増減率) B/A-1
		H27年度 A	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度 B	
第2号被保険者		735	724	717	755	760	781	773	815	10.9%
第1号被保険者	65～74歳	3,859	3,790	3,881	3,759	3,774	3,903	3,990	3,693	-4.3%
	75～79歳	4,670	4,534	4,524	4,663	4,753	4,579	4,575	4,721	1.1%
	80～84歳	8,854	8,782	8,748	8,499	8,224	7,955	8,182	8,166	-7.8%
	85歳以上	19,541	20,207	21,188	21,835	22,754	23,608	24,187	24,563	25.7%
	合計	36,924	37,313	38,341	38,756	39,505	40,045	40,934	41,143	11.4%
総認定者数		37,659	38,037	39,058	39,511	40,265	40,826	41,707	41,958	11.4%
総認定者数 前年度比		1.5%	1.0%	2.7%	1.2%	1.9%	1.4%	2.2%	0.6%	

令和4年度の介護保険の要介護（要支援）認定者数は、平成27年度から約4,300人増加している。

年齢階層別では、85歳以上がもっとも人数が多く、平成27年度と令和4年度で比較してみると、増減率ももっとも大きくなっている。

第1号被保険者 年齢階層別 認定率の推移（各年度末）

	第6期			第7期			第8期	
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
65～74歳	4.3%	4.3%	4.4%	4.3%	4.4%	4.5%	4.6%	4.4%
75～79歳	14.4%	13.5%	13.4%	13.1%	13.3%	13.2%	13.2%	12.6%
80～84歳	31.5%	30.7%	30.3%	29.9%	29.3%	28.4%	28.4%	28.1%
85歳以上	65.4%	64.8%	65.0%	64.8%	64.7%	64.2%	64.2%	64.2%
第1号被保険者	20.6%	20.5%	20.9%	21.0%	21.3%	21.4%	21.8%	21.9%

第1号被保険者の認定率は上昇しているが、年齢階層別の認定率を平成27年度と令和4年度で比較してみると、65～74歳を除いて認定率が低下している。

高齢者外出インセンティブ事業

めざせ元気シニア せたがやデジタルポイントラリー

を実施します。

- ・ コロナ禍がもたらした外出する機会の減少
- ・ 社会参加の割合が高いと要支援・要介護認定率が低い



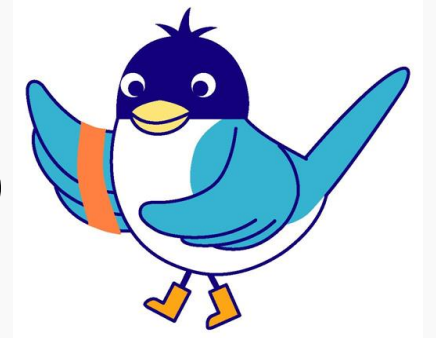
外に出て

誰かと出会い

誰かを助け

誰かと何かを始める

外出を動機づける事業（＝ポイントラリー）
を実施することにより、高齢者の閉じこもりの
解消や介護予防の機会拡充を図る



- ・ 令和5年10月から区内3地区で試行実施
⇒ 試行実施の結果を踏まえ、令和6年度以降の本格実施に繋げる。

○対象 松沢地区、用賀地区、祖師谷地区に住所を有する65歳以上の区民（各地区300名程度）

○期間：10月2日（月）～3月29日（金） ※申込みは9月1日（金）～2月29日（木）を予定

スマホ参加者



スマートフォン
を持って出かけ

獲得したポイントは、
ポイントラリーアプリで、
50ポイントごとに500円分の
せたがやPayのコインと交換

ICタグ参加者



ICタグを
持って出かけ

獲得したポイントは、あんしんす
こやかセンターのタブレットで、
50ポイントごとに500円分の
区内共通商品券と交換



出会い、助け、何かを始める

スマホ参加者⇄ICタグ参加者
すれ違いでも1ポイント獲得

【上限】
1箇所1日1ポイント
1日10ポイント
1月100ポイント

ICタグ参加者
の家族



見守り機能【希望者】スポット近辺
を通過時、家族にメール送信

近づくと1ポイント獲得





メルクマールせたがや 10年目シンポジウム

内 容

ひとりぼっちにならない社会へ
～つながり続ける支援を目指して～

- メルクマールせたがや事業報告
- パネルディスカッション

齋藤環氏（筑波大学教授）
山登敬之氏（精神科医）
保坂区長

日時：8月8日（火）
18：30～20：30
会場：成城ホール（成城6-2-1）

定員：会場 300名
オンライン 80名
（申込不要、先着順）

☒HPQ 204857

メルクマールせたがやは、
不登校・ひきこもりなどの生きづらさを抱えた方と
そのご家族への支援を行い、まもなく10年目を迎えます。
これまでの活動を振り返りつつ、
“つながり続ける”大切さを皆さまと考えるシンポジウムを開催します。

ひきこもり相談窓口「リンク」の キャラクターが決まりました！

令和4年4月に開設した「リンク」
区民公募、区民投票、審査員審査を経て
キャラクターが決まりました。

モーリー

- ◇癒しの妖精
- ◇普段はモーリーの世界におり、自身もひきこもっているが、助けが必要な人がいるとやってくる。
- ◇話をじっくり聴いてくれる。
- ◇疲れてしまったときは、モーリー界の家に戻っていく

「リンク」利用者と一緒に、キャラクターの日常や生活の設定を考えています。



「子どもSOS相談フォーム」の正式運用

令和5年7月18日
(火)に開始

- 区立小・中学生が区配付のタブレット端末から教育委員会に悩み等を送信できるアンケートフォーム

特長は？



自分の
タブレットから
送信できる

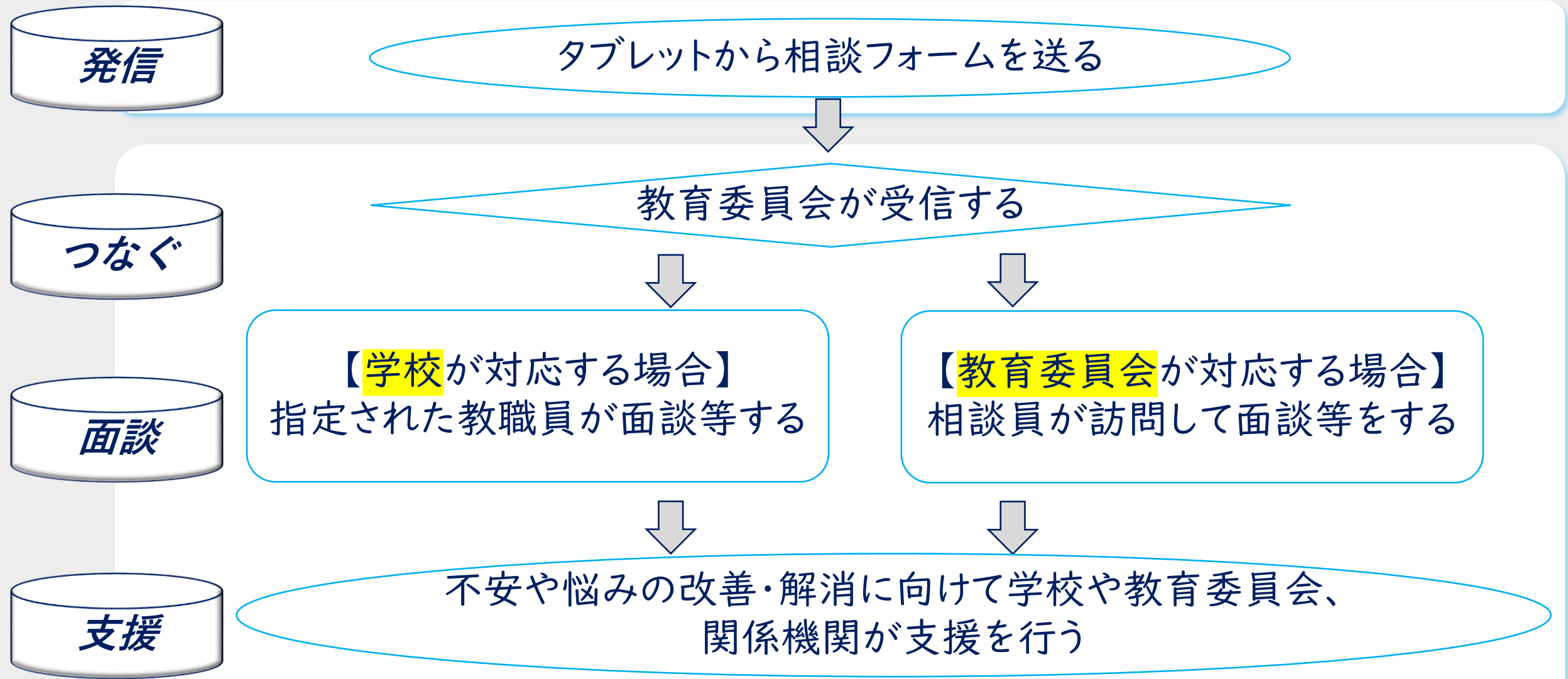
在籍する
学校等で面談
できる

教育相談室
せたホッと
など

相談相手
を選べる

専門機関
とつながれる

相談から面談、支援までの流れ





子どもSOS相談（そうだん）フォーム

こちらは、世田谷区教育委員会です。
こちらは、せたがやく きょういく いいんかい です。

相談したいことがある人は、この相談フォームで困っていることや悩んでいることを教えてください。あなたが話を聞いてほしいと思っている人に、話を聞いてもらえるように伝えます。ひとりで悩まないで、一緒に考えていきましょう。

そうだん したい ことが ある人は、この そうだんフォームで こまっていることや なやんでいることを おしえてください。あなたが はなしを きいてほしいと おもっている人に、はなしを きいて もらえるように つたえます。ひとりで なやまないで、いっしょに かんがえて いきましょう。

こんにちは、[]。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

ひらがな・カタカタ と 漢字

1. ひらがな・カタカナだけで、アンケートを よみますか？

- はい
- いいえ（漢字表記があってもよい）

ひらがな・漢字が選べる

8. どんなことを相談したいですか？

※いくつか選ぶことができます。

- 友達のこと
- 勉強のこと
- 先生のこと
- 家族のこと
- その他

9. どんなことを相談したいですか？

※くわしく書ける人は書いてください。例）友達から〇〇〇〇されてこまっている。

回答を入力してください

自分のタブレットから送信できる



10. だれに相談したいですか？ * □

※どれか1つ選んでください。

- 担任の先生
- 担任ではない先生
- 保健室の先生
- 学校のスクールカウンセラー
- 教育委員会の相談員
- 今は相談したくない。見守っていてほしい

学校の先生か
教育委員会
相談員

相談相手
を選べる

12. どこで声をかけてもらいたいですか？ * □

※どれか1つ選んでください。

- 教室
- 教室以外のところ
- どこでもよい

相談場所を
選べる

在籍する
学校等で面談
できる



あなたが相談したくなった時には、このフォームで相談してください。
また、次の方法でも相談することができます

(他の相談窓口)

○「総合教育相談ダイヤル」(月～金 午前9時～午後7時)
03-6453-1520

○せたがや子どもテレフォン(月～金 午後5時～午後10時 休みの日 午前9時～午後10時)
03-5451-1211

【24時間対応】

○24時間子供SOSダイヤル(全国统一ダイヤル)
0120-0-78310

【電話・手紙・葉書で相談】

○せたがやホッと子どもサポート

0120-810-293 (月～金 午後1時～午後8時 土 午前10時～午後6時)

〒156-0051 世田谷区宮坂3-15-15

子ども・子育て総合センター「せたホッと」あて

※世田谷区ホームページからメールでの相談もできます。※このタブレットからは送れません。

※この相談フォームを送ると自動的にあなたの名前や学校で配布したメールアドレスが教育委員会に送られます。

専門機関
とつながれる

教育相談室
せたホッと
など

令和5年度 第3回 世田谷区長 定例記者会見

ありがとうございました

令和5年8月1日
世田谷区